

## 留学報告書

2014年度 Funai Overseas Scholarship 奨学生

岡本一秀

2014年夏よりGeorgia Institute of Technology, School of Aerospace Engineering のPh.D.コースに留学中の岡本一秀です。年明けから始まったSpring 2015について報告させていただきます。

### 1. 生活と英語について

アメリカ生活もやがて1年になり、随分いろいろなことに慣れてきました。渡米当初は  
天気予報：今日の最高気温は85度です。

僕：まじで！？ 焼け死ぬじゃ。．． あー華氏か(;´∀`)

といった感じで毎回変換しないといけなかった気温もいつの間にか理解できるようになり、全部同じ味でまずいと思っていたアメリカ人のソウルフード・ピザの微妙な味の違いも分かるようになり、お腹まわりもたくましくなった気がします。それは気のせいだと思います。

また、3月から急にテレビの英語がずっと耳に入るようになり理解できる割合が増えました。GOOD MORNING AMERICAのテンション高いおばちゃんの英語もCNNのおっちゃんの英語も分かるのが楽しくてずっとテレビを見る生活がしばらく続きました。そしてアメリカ人の友人の英語もインターナショナルの友人の英語も随分聞こえるようになりました。そうすると今度は英語は聞こえているけど言っている意味が分からないという状況に出くわすようになりました。例えば友人とレストランでご飯を食べたあとに店員さんに“Check please.”と言うと“together or separate?”と聞かれます。初めて聞いた時は意味が分かりませんでした。separateは個別に支払うかという意味で、お店が個別に伝票を用意して各自が自分のクレジットカードで支払うことができるようにしてくれます。(togetherは日本と同じで全員分まとめた伝票をくれます。) そもそもお店の方で割り勘できるようにしてくれるという発想がなかったのでこれにはびっくりしました。またマクドナルドに行った時もチーズバーガーセットを頼んだところ、

店員： 2個のやつ？

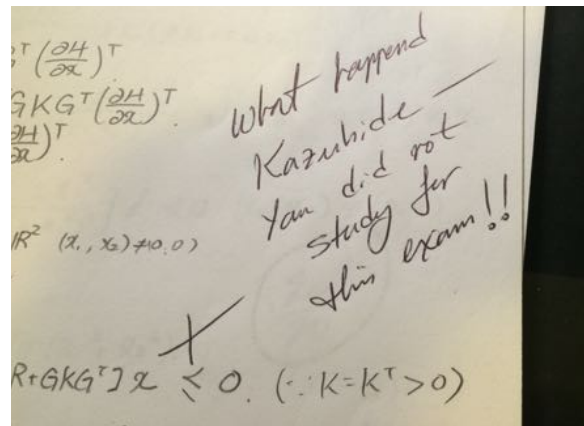
僕： (2個?なんのこっちゃ?) そうそうメニューの2番のやつ。  
という噛み合っていない会話をしましたが、アメリカのチーズバーガーセットにはチーズバーガーが2個ついていました。友人とのコミュニケーションでも、たとえば“Let's get together at 2pm on Saturday and study for the test.”は「土曜午後2時にみんなで集まってテスト勉強しよう」という意味になると僕は今でも信じているのですが、みんなが集まるのは午後4時半です。いろいろ苦労はしていますが、アメリカに来たばかりの1年前に比べれば英語ができるようになっていく実感はあるので地道にコツコツやっています。

## 2. 授業について

今学期はAerospace Nonlinear ControlとOptimization for the Design of Engineered Systemsを履修しました。またプレゼンテーションの授業とPh.D.学生必修の研究倫理の授業も履修しました。計4つは大変でしたが、2学期目ということもあり負荷が予測でき休憩すべき時期を見極められたので終わってみると前学期よりも苦勞は少なかったと思います。

Aerospace Nonlinear Control は前学期のMultivariable Control と同じ教授による授業で、今学期もこれが1番大変でした。教科書は1000ページあり誰もが敬遠するため履修者は7人。当初は月曜と水曜のお昼に1時間半ずつ授業の予定だったのですが、割り当てられた教室がホワイトボードではなく黒板だったため、(チョークだとマーカーよりも書くスピードが遅いので時間内に授業終わらないらしいです。)教室をホワイトボードの部屋に変更した結果、授業時間が夕方4:00からなぜか2時間になるくらい序の口の自由な授業でした。「今日中間テストやるからよろしく」メールを当日お昼に送ってみたい、Final Projectを期末テスト一週間前(つまりdead week)に出題してみたり、期末テストは18:00-21:00だったり、随分タフになれました。僕は

Multivariable Controlでトップを取ったこともありオフィスに行くと教授はどんなに忙しくても質問に必ず答えてくれるなど“お気に入り”の学生だったのですが、中間テストで大ボカをし、よほど大きく期待を裏切ったのか答案で「もっとまじめに勉強しろパーカ」と怒られる(右図)というおよそ20年間ペーパーテストを受けてきてはじめての経験をしました。もっとも結果をもらった時には「Kazuhideもこんなミスするんだなあアッハッハー」と声高らかに笑い飛ばされただけで、その後は以前と変わらず質問にも丁寧に答えていただけで最終成績は無事Aをもらえました。



また、前学期は授業だけで手一杯で全く進められなかった研究も今学期は授業と並行して進めることが出来ました。徐々にこちらの生活(ただし食事を除く)に適應できてきていると思います。次回の報告書提出の頃には成果が出せているようにがんばります。